

加茂市



議会だより

第 222 号

令和 5 年 7 月 31 日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町 2 丁目 3 番 5 号

T E L 0256-52-0080 (代表)

F A X 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<https://www.city.kamo.niigata.jp/>

E-mail

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp

市議会ホームページ

加茂市議会



— 令和 5 年 5 月臨時会・6 月定例会・7 月臨時会 —



加茂市議会による6月議会報告会(座談会)を開催します

主催 加茂市議会

場所 加茂市産業センター

日時 8月21日 19:00~

申込先 加茂市議会事務局
☎52-0080 (内線512)

定員 40人程度 ※席に余裕があれば当日参加も可能です。

取り上げるテーマ

【指定管理に関する議案】

- ・加茂ショッピングパークメリア3階の管理に関する条例の制定について
- ・加茂七谷温泉美人の湯条例の一部改正について
- ・加茂土産物センター・インフォメーションセンター条例の一部改正について

【上下水道料金の改定に関する議案】

- ・加茂市下水道条例の一部改正について
- ・加茂市水道給水条例の一部改正について

誌面や加茂市議会へのご意見・ご要望がありましたら 加茂市議会事務局 ☎52-0080 (内線512) まで

一般会計補正予算を可決

一般選挙後、初めての定例市議会が6月15日から26日まで、会期12日間で開かれました。
この定例会では、条例制定・改正、各会計補正予算及び人事など市長提出議案32件を慎重に審議の結果、全て原案可決、同意しました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

条例制定

43号議案 個人番号の利用に関する条例

例は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づき、同法に規定する法定事務以外の市の独自利用事務を定めるものです。

44号議案 加茂シヨッピングパークメリア3階の管理に関する条例

6月定例会

例は、実証実験が終了した加茂シヨッピングパークメリア3階を、今後も管理していくにあたり必要な事項を定めるものです。

条例改正

45号議案 加茂七谷温泉美人の湯条例

は、美人の湯においてアウトドア事業を展開することに伴い、利用が温泉に限らないものとなることから、当該条例中の略称の改正等、所要の改正を行うものです。

46号議案 加茂土産物センター・インフォメーションセンター

例は、同センターにおいて物産の委託販売の促進を図るため、事業者が納める手数料を指定管理者が定められるよう、所要の改正を行うものです。

47・48号議案 印鑑条例・手数料条例

例は、令和5年5月11日より、マイナンバーカードに搭載されている電子証明書が、スマートフォンにも搭載可能となったことに伴

い、所要の改正を行うものです。

49号議案 下水道条例

は、下水道使用料について令和5年10月請求分から基本料金5%、従量料金8円の値上げを実施するため、所要の改正を行うものです。

50号議案 水道給水条例

は、水道料金について令和5年10月請求分から基本料金、従量料金ともに15%の値上げを実施するため、所要の改正を行うものです。

補正予算

40号議案 一般会計(第3号)

は、総額2億1741万6000円の増額で、水道料金負担軽減事業費8393万1000円などを増額し、下水道事業特別会計繰出金709万6000円を減額するもので、この財源は、国庫支出金1億1049万7000円などを増額して措置するものです。

71号議案 一般会計(第4号)

は、石川小学校校舎耐震補強工事費1320万5000円の増額で、この財源は、市債1320万円などを増額して措置するものです。

この結果、予算の総額は127億2294万7000円となりました。

41号議案 下水道事業特別会計(第1号)は、下水道使用料70

9万6000円を増額し、同額一般会計繰入金を減額するものです。
42号議案 水道事業会計(第1号)は、収益的収支について、収入で営業収益5852万1000円を減額、営業外収益8393万円を増額し、支出で営業費用154万2000円を増額するものです。



6月定例会本会議 (6月15日)

定例会日程

- 6月15日 本会議
- 16日 本会議
- 19日 本会議
- 20日 連合審査会・全員協議会
- 21日 産業民生常任委員会
- 22日 総務文教常任委員会
- 26日 本会議

市道路線

51号議案 高須町

一丁目6号線は、民間宅地造成により新設された道路で、一般交通の用に供するため市道として認定するものです。



産業民生常任委員会の現地視察（6月21日 高須町一丁目6号線）

人事

52〜70号議案

定例会最終日の本会

議で、農業委員会委員に19名の方を、本年7月20日付けで任命することに同意しました。

議員表彰

全国市議会議長会から永年在職議員として表彰された、次の方々の表彰状伝達式が、6月定例会初日の開議に先立って行われました。

【特別表彰】

◎議員在職20年以上

森山 一理 議員

【一般表彰】

◎正副議長4年以上

滝沢 茂秋 議員



表彰された滝沢議員、森山議員（左から）

5月臨時会

5月22日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案7件を承認、原案可決及び同意しました。

33号議案 税条例の一部を改正

する条例の専決処分は、地方税法等の一部を改正する法律が令和5年3月31日に公布されたことに伴うもので、主な内容は、固定資産税について、負担軽減措置の創設等がされたこと、軽自動車税について、環境性能割の税率区分の見直しがあったことなどに伴い、規定を整備したものです。

34号議案 都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分は、

地方税法の一部改正に伴うもので、条項ずれが生じるため、所要の改正をしたものです。

35号議案 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分

は、国民健康保険税の課税限度額の見直し及び低所得者に係る国民健康保険税の軽減判定所得の見直し並びに特例対象被保険者等に係る申告の際に提示を求められる書類として雇用保険受給資格通知を追加するため改正したものです。

36号議案 一般会計補正予算(第1号)の専決処分は、

新型コロナウイルスワクチン接種事業費75

99万7000円の増額で、この財源は、同額国庫支出金を増額して措置したものです。

37号議案 一般会計補正予算(第2号)は、

総額1億2732万9000円の増額で、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費9160万円、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費2572万9000円及びアウトドア事業費1000万円を増額するもので、この財源は、国庫支出金1億1732万9000円及び企業版ふるさと加茂応援寄附金基金繰入金1000万円を増額して措置するものです。

この結果、予算の総額は124億9232万6000円となりました。

五十嵐副市長選任に同意

38号議案 副市長の選任について、

全会一致で五十嵐裕幸氏(天神林)を選任することに同意しました。



五十嵐副市長



滝沢監査委員選任に同意

39号議案 監査委員の選任について、全会一致で滝沢茂秋氏（寿町）を選任することに同意しました。

石川小学校（校舎）耐震改修工事変更契約を締結

7月臨時会 7月19日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案1件を原案可決しました。



耐震改修工事中の石川小学校

72号議案 変更契約の締結は、石川小学校（校舎）耐震改修工事について工事を実施した結果、設計の一部を変更して実施する必要があるため、請負契約の変更契約を締結するものです。

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案は、6月21日及び22日に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、全て原案可決すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。

産業民生常任委員会

委員会開会后、市道路線の認定箇所の現地視察を行うとともに、付託議案11件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、第44号議案及び第46号議案を除く9件については、特に意見・要望を付すこともなく、いずれも全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、第44号議案及び第46号議案は、質疑、討論がなされ、起立採決の結果、原案可決すべきものと決定しました。



産業民生常任委員会 第46号議案の起立採決

総務文教常任委員会

付託議案3件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全て全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

連合審査会

6月20日に連合審査会を開催し、各委員会に付託された議案13件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

6月20日に全員協議会を開催し、（仮称）加茂市障がいのある方もない方も共に生きる地域の実現を目指す条例制定検討委員会の設置について、（仮称）加茂市認知症の方が尊厳を保ちながら幸せに暮らしていける地域の実現を目指す条例制定検討委員会の設置について、加茂市在宅介護手当支給事業の見直しについて、加茂七谷温泉美人の湯アウトドア事業における施設整備及び運営業務委託についての公募型プロポーザルの結果について説明を受け質疑を行いました。

広報広聴特別委員会の設置

今年度より、広報広聴特別委員会を設置いたしました。委員会内には、広報分科会と広聴分科会を設置し、広報分科会は、主に『議会だよりの編集』について担い、広聴分科会は、市民との座談会など『様々な立場の市民の方々との交流』を担うことを目的としています。

座談会や議会だよりに通じて、議会として意欲的に市民の皆さんとの交流を図ってまいります。

次のページの一一般質問は

市長の政治姿勢

獣害対策と環境整備

施政方針

児童発達支援センター

「ごみの回収システム」について

大志の会 森山 一 議員



質問の意図



清掃センターをあと10年稼働させる策として、生ごみを粉碎し下水道に流す「デイスポーター」の導入を提案。3年後開通する国道289号線の加茂市にもたらす経済波及効果は大きい。受け入

問 ごみ処理法として「デイスポーター」（生ごみを粉碎し排水と一緒に排水管に投入する）システムがあるが、加茂市の導入に向けた取り組みはいかがか。
答 処理槽付デイスポーターについては検討を行う一方、生ごみ分解処理容器コンポスターによる対策も検討していきたい。
問 令和8年に国道289号八十里越が全線開通となるが、福島県を始め北関東の方々は必ず加茂市を通り新潟市に向かうと思う。受け入れ体制及び県外への広報PRは考えているか。
答 加茂市内において安全で円滑な交通が確保されるよう県に要望を続ける。県外への働きかけは広域なマップを作成し広く配布して情報発信していく。

問 市道加茂病院通線の道路が傷んでいるので早急に改良するべき。また、病院臨時駐車場に使用していた場所を借り受け、観光客等の駐車場にできないか。
答 事業費は6800万円かかる見込み。日程は未定。駐車場は十分検討する。
問 加茂市立小中学校適正化方針の策定は今年の夏頃と聞いているが進捗状況は。CSO及び政策推進室の教育行政の関わりはどのようなものか。
答 「適正化方針」は5年度中に策定する。CSOの発意にて「教育行政定例会議」を開催している。教育委員会と市長部局が連携して小中学校・公共施設再編等を連携・調整し事業推進体制の構築に努めている。

れ体制「おもてなし」をインフラ含め強化すべき。市道加茂病院通線の道路改良を望む、また加茂病院臨時駐車場を加茂市に訪れる人々への駐車場に。加茂市の小中学校統合問題の進捗状況について。

人口減少対策での出会い、婚姻の促進について

会派青天 大橋 一 議員



質問の意図



加茂市の本当の医療問題は、街の診療所が減少していること。医院が進出するにはどうするか。今後は、崇徳会加茂病院と街の医院と在宅看護・介護連携での在宅

① 基幹病院と加茂病院をどのように考え、そして在宅医療の強化の必要性について
問 県央基幹病院の開院は、市民にとってメリットのある事と思う。また、加茂病院の新しい指定管理者に期待をする。正しい情報を発信し市民に安心を。加茂市内の医院・医師の減少が不安である。
答 県央基幹病院の開院で加茂田上地域の医療環境の向上が期待される。県と連携し、正しい情報をお届けする。診療所の増加につながるよう努める。
② 人口減少対策での出会い、婚姻の促進について
問 各自治体も積極的に取り組んで結婚を増やそうとしている。結婚増に取り組みなくてはならないと考える。

③ 美しい表現での看板設置を。水源地の看板に思う事。
問 水源地に「立ち入り禁止不法侵入を発見した場合、警察に通報します 加茂市」との看板が設置された。警察に通報など書かなくても、より良い表現の看板を。
答 「大切な水道用貯水池です。入らないでください」等の表現に変えて設置したい。その他、名誉市民制度について質問しました。

医療を推進することが大切。次に、人口減少問題への取り組み。婚姻数の減少そのものが、子どもの数の減少となってきている。出会い、婚姻増加への取り組みが必要。水源地の看板。名誉市民。

市長の政治姿勢について

YO2781 安武秀敏 議員



質問の意図



今年行われた県議選において、新人候補が当選したが、市長はこれについてどうお考えか。また、英語圏の都市との交流の状況や国

際交流協会の活動の状況等、教育や文化面での加茂市の国際性の動向について、うかがいました。その他、学校町付近の道路整備計画等の状況と市長の考えについて触れました。

問 県議選において、加茂市の未来を築き上げてくれる人は現職候補しかないかと、市長は演説でおっしゃっていたが、結果は新人候補が勝利した。加茂市の未来は大丈夫か。

答 県議が加茂市と田上町が行う事業を理解し、市、町と同じ方向に向かって行動されることが、より力強く市と町の事業を推進することにつながると考えている。

問 加茂市は、ロシアのコムソモリスク・ナ・アムール市と姉妹都市だが、通信はいかがか。また、友好都市である中国のツィボー市との令和5年の新年の挨拶はどのようであったか。

答 コムソモリスク・ナ・アムール市及びツィボー市の両市との新年の挨拶状の交換は行っており、友好的な関係を保っている。

問 英語圏の都市との交流について、調査状況はいかがか。

答 ニュージーランド、ノースランド地方のファンガレイという都市と連絡を取っている。

問 加茂市国際交流協会の令和4年度の役員会、総会、事業はいかがか。また、令和5年度の事業計画はいかがか。

答 加茂市国際交流協会の令和4年度の役員会、総会、事業については、外国を知ろうという事業名で、主に中学、高校生を対象としたイギリスに関する勉強会等の交流事業を実施した。令和5年度においては、福島県にあるブリティッシュヒルズという施設で、異文化体験・英語研修事業を計画している。

その他、学校町付近の道路整備計画の状況等について質問しました。

市内に広がる鳥獣被害への対策と環境整備について

大志の会 滝沢茂秋 議員



質問の意図



加茂市は里山に囲まれ、想像以上に野生鳥獣の活動エリアと人の生活圏が近くなっています。クマやサルから安心した生活を守るため、現状を理解して対策を図るべきと考え獣害対策と環境整備

市内広域に有害鳥獣が出没しており、安心して生活するための対策を施す必要がある。

問 今後の対策について民間や有識者との連携が欠かれないと考えるかがか。

答 関係団体と連携しているが、さらに有識者が参画することも大事なので検討したい。

問 獣害対策に関する住民への周知や説明会、シンポジウムの開催を提案する。

答 勉強会・研修会は行っているが、対策には市民の理解と協力が不可欠のため引き続き行う。課題共有のシンポジウムも前向きに検討する。

問 獣害、里山環境整備を目的に、交付税措置のある集落支援員を配置してはいかがか。

答 集落支援員についてはガイドラインを作成していると

について質問しました。

2つめの質問、雪下ろしに伴う命綱固定アンカー普及事業は、毎年雪下ろしの事故が絶えないことから、補助金を設けることで安全環境と住民理解を進めたいと考え提案したものです。

問 田上町など周辺自治体との連携を図る必要がある。

答 森林は周辺自治体とつながっているため、連携を密にして情報共有していく。

問 住宅の屋根雪下ろしに伴う高齢者等の転落事故を防止するため、命綱固定アンカー等の設置を支援する補助金事業の創設を提案する。

答 県内における雪に関わる死亡・重症事故のうち、雪下ろし等が最も多いのは議員の示すとおり。令和6年度の予算に合わせた国費及び県費の要求など、来年度の制度創設に向け準備を進めていく。

次のページの一般質問は



IT技術とデジタル化



男女共同参画

令和5年度施政方針について

会派青天 山田 宗 議員



質問の意図



今回私が質問した中で特に重要な点は2つ目のまちづくりに関してです。エリアプラットフォームや都市計画等の策定に2年、実施に1年、計3年かけるのではな

く、紫波町のまちづくり事業を例に、小規模な公民連携事業を同時進行で進めるべきと提案いたしました。

問 市川CSOがもたらした変革とはなにか。

答 市川CSOには、各課の予算が適切なPDCA、計画、実行、評価、改善で執行管理。事業進捗管理を全庁視える化し横串連携。総合計画、公共施設の再編計画、都市計画マスタープラン、地域公共会議、環境基本計画、温暖化対策基本計画などの策定に関与し、各種計画が整合性。産官学連携の加速は、エリアプラットフォームを立ち上げ未来ビジョンの策定に取り組んでいる。

問 エリアプラットフォーム、未来ビジョン計画から実施まで約3年、民間事業者による定期借地権という手法で公的不動産を活用した事業を実施しはどうか。

答 公的不動産を活用しキャッシュフローを発生させるためには民間事業者が主導し民間事業者の手法に基づいて民間資金を導入して持続可能なモデルを構築するかが重要である。公的不動産を活用しながら地方公共団体に頼らない公民連携体制を構築する必要がある。

問 環境、景観を守る観点で条例で規制してはどうか。

答 再生資源屋外補完施設であり、一時保管後売却のため廃棄物ではなく、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規制対象外である。法律の範囲を超えて条例で規制する場合、妥当性、規制根拠、権利保護に十分検討が必要である。

児童発達支援センターについて

加茂川会 近藤 ゆみ 議員



質問の意図



加茂市では令和3年度から雪椿の舎へ障がい児とその家族に対する相談業務の委託が始まるなど新し

問 総合計画で令和7年に児童発達支援センターを設置済みになると記載されているが現在設置に向けてどのような準備が行われているのか。

答 児童福祉法第43条において治療の有無により分類されている「福祉型」「医療型」の一元化の具体的な方向性等が現段階ではつきりしないため、今後の国の方針を見極め、十分に検討する必要がある。まずは「乳幼児あそびの広場」において児童発達相談を、「母子健康センター」において療育教室、幼児ことばの教室を行なっている。今後これらを一元化し、新たな訓練事業を加えた支援体制を築きたい。

問 放課後等デイサービスの定員確保に向けた計画や予定はあるか。

答 加茂市内の事業所は令和5年4月現在3事業所4ヶ

所、定員30名でこの3年で伸びている。加茂市だけの課題ではなく、どの市町村も同じ課題を抱えている。希望者全員が市内で通えるようにそれぞれの家庭に合わせて、寄り添う支援をしていきたい。

問 新潟県の総合計画をもとに新しく改正されたインクルーシブ教育について、どの様に捉えているか。

答 一人一人の教育的ニーズに応えながら、できるだけ同じ立場で共に学び合う教育と捉え、一人一人の障がいや特性に応じた教育を実現するために、特別支援教育の推進に注力している。

「特別支援学級・通級学級の適正な設置」、「人的な支援」、「早期からの就学相談の実施」で、誰一人取り残さない教育の実現に努める。



財政計画



安心で安全な子育て

加茂市のIT技術の活用とデジタル化について

会派青天 田中雅史 議員



質問の意図



令和5年度予算編成における三つの重点実施事項の一つ、市が抱える課題解決、並びに高まる行政ニーズへの対応としてのIT技

術の活用とデジタル化の推進の体制について。3年後のふるさと納税額10億円達成に向けての目標達成への方針・年次予算・提携各社との連携内容、並びに納税寄付金額の使い道について。

問 組織体制の整備を伺う

NTT東日本からのDXアドバイザーとCSOと

で体制を構築、情報セキュリティポリシーガイドライン案を作成して職員へも研修会実施済、試験運用後に正式稼働予定。

問 デジタル人材の確保・育成について

情報政策係のITプロジェクト管理スキル、各課IT担当者ならびに一般職員のITリテラシーの向上を図ると共に、外部人材登用制度による確保を方針としている。

問 計画的な取組について

本年度に標準仕様との差異分析を実施予定、マイナポータルでの引越手続き実現により行政手続きのオンライン化を開始した。

問 都道府県による市町村支援について

画支援により体制強化を図る。

県の電子申請システムを本年10月より稼働予定、合同定例会議も毎月開催。県とチャットツールによる情報交換を実施、本年度より対象業務を更に拡大予定。

問 今後の寄付金の使い先について

市長にお任せ1億6千万円、教育1億2千万円、福祉9千万円など、今後は総合画に沿った子育て支援などに充てる仕組みづくりを検討中。

問 目標金額と達成への方針について

事業者に対するセミナー等の開催による啓蒙活動、販路拡大を戦略とし、総合計画策定の令和5年以降3年の目標値は7億8千万円、9億円、10億円。

加茂市男女共同参画推進計画について

日本共産党 杉田優子 議員



質問の意図



加茂病院は市民の命綱だ。来春の民営化を前に、住民の不安に応え、充実の方策を探りたい。「加茂市男女共同参画推進計

画」はジェンダー平等社会実現の出发点になりうると思う。女性議員の増加、同性婚、LGBTQなど、身の回りに目を向けたい。児童保育の充実も、子育て世代の切実な課題だ。

「加茂市男女共同参画推進計画」について

①この4年間で実現したことは、また、困難点は何だったか。②加茂市は、女性議員は2人だけ。「クォータ制」、同性婚をどう考えるか。

問 「男女共同参画」で実現したことは、「推進計画」策定と女性管理職増などで、困難点は一般市民の理解不足と男女の固定的な役割分担。クォータ制は議会で議論を待つ。パートナーシップ制は今後検討。

加茂病院の今後について

問 ①市民への説明会はいつか

②現在の常勤医数と診療科目目数は？ 今後の医師確保の見通しは？ ③救急車は平日の日中だけ。夜間受け入れが強く求められる。せめてトリアージ機能を果せる体制が必要だ。

④今、住民が求めている切実な

医療課題は何か。

住民説明会は、県が複数回予定。日時未定。常勤医師は、内科、緩和ケア、整形、リハビリ、放射線の5診療科のみ。他の診療科は助勤など。今後は基幹病院医師との連携で。救急車の休日、夜間受け入れは、医師不足で不可。外来機能が縮小しないよう努力するが、加茂市の診療所数が減少しており、休日診療輪番制や喫緊の課題である在宅医療などに困難をきたすことを危惧している。加茂病院の空き病床は、福祉や介護施設への転換を検討。

問 児童保育について

①児童数に見合った広さ、環境整備、児童支援員数は、適正か。

問 ①児童数に見合った広さ、環境整備、児童支援員数は、適正か。

児童保育のスペース、指導員などは基準をクリアしている。

答

20年後を見据えた公共施設及びインフラに関する財政計画について 会派青天 森 友和 議員



質問の意図



将来世代にとって無理なく支え運営できる加茂市であるためには、どれだけ施設を整理していく必要があるのか、将来の加茂市の財政収支の推計をもとに『20年後

の加茂市の姿』を見据えたい。

また、令和6年春より加茂病院の指定管理者となる医療法人崇徳会。市民にとってより良い病院を目指す崇徳会と加茂市の連絡体制について問います。

問 公共施設再配置方針についてインフラを除いた投資的経費の低減の見通しはいかがか。

答 令和3年3月に策定した公共施設再配置方針により、加茂市内の公共施設の状況等について明らかにすることができた。今後、人口減少や財政の見通しとの紐づけを担保するため、令和5年度から6年度にかけて長期のアクションプランを策定する。

問 学校や公営住宅を含む公共施設及びインフラに関する投資的経費をどの程度低減させることが必要なのか。

答 国立社会保障・人口問題研究所によれば、今後22年間で9128人、36.8%減少すると推計されている。少なくとも人口減少率以上、長期財政シミュレーション等の検討結果次

第では、それ以上の公共施設の縮減が必要不可欠である。

問 加茂市は、医療法人崇徳会との意見交換の場を既に設けているのか。また、どのような内容が話されているのか。また、今後はどのような形でコミュニケーションをとっていくのか。

答 医療法人崇徳会との意見交換は、計2回行っている。今後の医療体制のことや加茂病院が地域密着型病院としてどのように機能するか、在宅医療の推進などについて崇徳会の意見を聞いた。今後も必要な機会に話をする場を設けていきたい。

今後の医療体制のことや加茂病院が地域密着型病院としてどのように機能するか、在宅医療の推進などについて崇徳会の意見を聞いた。今後も必要な機会に話をする場を設けていきたい。

安心で安全な子育て環境の整備について 公明党 三沢 嘉男 議員



質問の意図



今年4月に「こども基本法」が施行され、こども家庭庁も設置されました。加茂市も伴走型相談支援を実施したことに伴い、安心で安全な子育て環境の整備につい

て質問するものです。

近年、全国の小中学校で不登校の児童生徒数が急増していることから文科省は「COCOLOプラン」を発表しました。これについて加茂市の現状を質問します。

問 加茂市の0歳児見守り訪問事業の体制整備について問う

答 0歳児の子育て世代と関わる機会を持ち必要な支援を実施。今年度から父親へのオンライン健康相談も実施予定。

問 家事支援等が必要なケースも予想される。支援員等の確保や資格取得の支援制度はどうか。

答 加茂市では家事支援も包含したファミリー・サポート事業に取り組んでいきたい。

問 奨学金の代理返還制度は、若者や企業の人材確保、地域活性化にもつながる。企業に対する導入支援制度を創設しては。導入している市内企業の情報は無いが、加茂商工会議所とも連携を取り把握に努めたい。

問 不登校の子どもを抱える保護者を支援するため、保護者の会等の環境を整備してはどうか。

答 有意義だが、プライバシー保護等、慎重を期す必要がある。

問 各小中学校に多様な学びの場やオンライン指導できる体制を確立してはどうか。

答 昨年度から教室の授業にオンラインで参加するような例も増えてきている。今後は選択肢の一つとして定着を図る。

問 多様な学びの場での「学び」を確実に学校の成績に反映させることが重要だが、現状を問う。

答 学校はもっと積極的に取り組むべき。多様な評価を工夫、採用する必要がある。

5月臨時会 議案等審議結果

市長提出議案		
33	専決処分の承認（税条例の一部改正）	承認
34	専決処分の承認（都市計画税条例の一部改正）	〃
35	専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正）	〃
36	専決処分の承認（5年度一般会計補正予算第1号）	〃
37	5年度一般会計補正予算（第2号）	原案可決
38	副市長の選任（五十嵐裕幸氏）	同意
39	監査委員の選任（滝沢茂秋氏）	〃

6月定例会 議案等審議結果

市長提出議案		
40	5年度一般会計補正予算（第3号）	原案可決
41	5年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	〃
42	5年度水道事業会計補正予算（第1号）	〃
43	個人番号の利用に関する条例の制定	〃
44	加茂ショッピングパークメリア3階の管理に関する条例の制定	〃
45	加茂七谷温泉美人の湯条例の一部改正	〃
46	加茂土産物センター・インフォメーションセンター条例の一部改正	〃
47	印鑑条例の一部改正	〃
48	手数料条例の一部改正	〃
49	下水道条例の一部改正	〃
50	水道給水条例の一部改正	〃
51	市道路線の認定	〃
52	農業委員会委員の任命（今井和幸氏）	同意
53	農業委員会委員の任命（坂上辰彦氏）	〃
54	農業委員会委員の任命（中野良一氏）	〃
55	農業委員会委員の任命（梅田守康氏）	〃
56	農業委員会委員の任命（近藤サチ子氏）	〃
57	農業委員会委員の任命（飯岡佐治雄氏）	〃
58	農業委員会委員の任命（坂内長市氏）	〃
59	農業委員会委員の任命（佐藤愛子氏）	〃
60	農業委員会委員の任命（浅川和夫氏）	〃
61	農業委員会委員の任命（木村雅一氏）	〃
62	農業委員会委員の任命（諸橋利彦氏）	〃
63	農業委員会委員の任命（長谷川正典氏）	〃
64	農業委員会委員の任命（加茂重夫氏）	〃
65	農業委員会委員の任命（小林裕一氏）	〃
66	農業委員会委員の任命（西村修市氏）	〃
67	農業委員会委員の任命（山田喜良氏）	〃
68	農業委員会委員の任命（田澤淑子氏）	〃
69	農業委員会委員の任命（吉村陽介氏）	〃
70	農業委員会委員の任命（小池俊木氏）	〃
71	5年度一般会計補正予算（第4号）	原案可決

7月臨時会 議案等審議結果

市長提出議案		
72	変更契約の締結	原案可決

議員賛否の状況 審議結果の賛否が分かれた議案等 (右の表の網かけ部分) について、賛否を公表します。

議案番号等	採決の種類	結果	賛成	反対	棄権	会派青天					大志の会			自由クラブ	Y02781	国民の会	公明党	共産党	加茂川会	
						山田宗	田中雅史	森友和	大橋一久	白川克広	樋口博務	佐藤俊夫	滝沢茂秋	森山一理	関龍雄	安武秀敏	森川豊	三沢嘉男	杉田優子	近藤ゆみ
44 条例	起立	可決	11	2	0	○	○	○	●	—	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
46 条例	起立	可決	9	4	0	○	○	○	●	—	●	○	○	●	○	欠	○	○	○	○

6月定例会

44	条例	起立	可決	11	2	0	○	○	○	●	—	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
46	条例	起立	可決	9	4	0	○	○	○	●	—	●	○	○	●	○	欠	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対、白川克広議長は採決に加わらない。※採決の種類：起立は起立採決。



現地視察 新町周辺整備事業 (6月5日)



新議員研修 (6月1日)

新議員研修会開く

4月の改選で当選した新議員5名は、6月上旬3日間にわたる研修会で市政を勉強しました。研修会最終日には、議員13名で浄化センターなどの視察を行いました。

議長就任あいさつ



この度、加茂市議会第27代議長に就任しました白川克広でございます。

私はこれまで、特別委員会副委員長、産業建設常任委員長、総務文教常任委員長そして副議長と勉強の機会をいただき、先輩議員のご指導の下、議会運営についても研究を重ねてまいりました。

議会の自浄能力を高め、さらなる議会機能の強化・充実を図り、市民の負託にこたえる議会の確立を目指します。

そして、開かれた、透明性のある議会の確立を図るため、日々改革の視点を絶やすことなく、円滑な議会運営に努めてまいります。

今、加茂市は、質実とも変革の時を迎えており、社会福祉をはじめとした市民生活の向上に努めていかなければならないと考えており、市長としっかりと議論を重ね、市民のための施策を実践してまいれる所存であります。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

加茂市議会議長 白川 克広

副議長就任あいさつ



この度、皆様方の信任を賜り、伝統ある加茂市議会第32代副議長に就任させていただきます。

いただきました。大変光栄に思うと同時に、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

これまでも皆様のご指導のもと、4年間、常任委員長を務めさせて頂き経験を積ませて頂きました。今後はその経験を活かしながら、副議長としての職務を遂行するとともに、議長の補佐役として市政の推進及び、議会の公正かつ円滑な運営、また議会のさらなる活性化に努めて参りたいと思っております。

加茂市は現在、様々な課題を抱えながらも、皆様の多様な意見に耳を傾けながら、安心で安全に暮らし続けられる街を目指し、課題解決に向け鋭意努力している所でございます。

今後とも市民の皆様には、暖かいご支援と、より一層のご指導、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

加茂市議会副議長 三沢 嘉男

の加
構茂
成市
一議
覧会

令和5年
7月31日現在



次の定例会は

9月14日(木)から開催の

予定です。

議席	氏名	期	年齢	住所	電話	党派	会派	委員会所属	一部事務組合等
1	こんどう 近藤 ゆみ	1	27	矢立7番34号	080-7190-2544	無	加茂川会	総務文教常任 広報広聴特別	消防衛生 中越福祉
2	やまだ 山田 宗	1	42	千刈1丁目9番1号	090-2020-1985	無	会派青天	産業民生常任 議会運営 広報広聴特別	消防衛生
3	たなか 田中 雅史	1	44	芝野8番17号	090-1774-9751	無	会派青天	産業民生常任 議会運営 広報広聴特別	消防衛生 水道企業団
4	すぎた 杉田 優子	1	78	都ヶ丘10番17号	52-5579	共	日本共産党	産業民生常任	消防衛生 さくら福祉
5	もり 森 友和	2	44	皆川3番16号	070-3624-0486	無	○会派青天	◎総務文教常任 ◎広報広聴特別	水道企業団
6	おおはしかずひさ 大橋 一久	2	46	大字下大谷834番地	52-9785	無	会派青天	○産業民生常任 ○議会運営	消防衛生
7	みさわ 三沢 嘉男	3	51	大字黒水1375番地3	53-1661	公	公明党	産業民生常任 広報広聴特別	副議長
8	しらかわかつひろ 白川 克広	3	72	大字黒水695番地甲	090-1613-3110	無	会派青天	総務文教常任	議長
9	さとう 佐藤 俊夫	3	72	大字宮寄上1181番地	53-1201	無	大志の会	○総務文教常任 議会運営	消防衛生
10	もりかわゆたか 森川 豊	3	76	大字下条甲324番地1	52-8340	国	国民民主の会	産業民生常任	消防衛生 水道企業団
11	たきざわしげあき 滝沢 茂秋	4	53	寿町7番16号	090-8813-8014	無	大志の会	総務文教常任 ○広報広聴特別	監査委員
12	もりやまかずみち 森山 一理	6	65	都ヶ丘1番28号	53-1785	無	○大志の会	◎産業民生常任 議会運営	水道企業団 後期高齢
13	ひぐち 樋口 博務	9	75	大字後須田446番地	53-2024	無	会派青天	総務文教常任 ◎議会運営	消防衛生
14	やすたけひでとし 安武 秀敏	9	83	幸町2丁目7番10号	52-8442	無	Y O 2 7 8 1	総務文教常任	消防衛生
15	せき 関 龍雄	10	84	八幡2丁目2番11号	52-7298	無	自由クラブ	総務文教常任	さくら福祉

【注】党派の無=無所属、共=日本共産党、公=公明党、国=国民民主党
 会派の○印は会派の代表者、委員会所属の◎印は委員長、○印は副委員長
 総務文教常任委員会 8人、産業民生常任委員会 7人、議会運営委員会 6人、広報広聴特別委員会 6人
 消防衛生=加茂市・田上町消防衛生保育組合 9人、中越福祉=新潟県中越福祉事務組合 1人
 水道企業団=三条地域水道用水供給企業団 4人、さくら福祉=さくら福祉保健事務組合 2人
 後期高齢=新潟県後期高齢者医療広域連合 1人